

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・ 今月は、月初から衣料品、家庭用品を中心に伸長している。来客数、客単価、買上点数共に前年実績を上回り、今月は25か月ぶりに売上も前年実績を超えそうな情勢である。
		家電量販店（総 務担当）	販売量の動き	・ エコポイント制度変更に伴う駆け込み需要効果が、予想以上に出ている。
	やや良く なっている	スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・ 来客数の落込みが下げ止まり、今月は若干回復の兆しがみられる。3か月前と比べてみても、前年比90%前半の推移から90%後半までに来客数は回復している。
		通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・ 新機種が発売され、予約も好調である。値段が少し高くても、欲しい商品は購入するようになっている。
	変わらない	コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・ 前年度に比べて、お歳暮・クリスマスケーキの動きがあまり無い。静かな年末になりそうである。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・ たばこの値上げで、単価は上がってきているが、来客数はなかなか増えてこない。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・ 来客数は前年比で4%減少しているのに対し、売上の前年比は100%で推移している。たばこの単価増が売上を押し上げているが、たばこ以外の商品が前年比で4%減少と来客数同様に落ちている。特にドリンク・米飯類・雑貨・酒類が前年比で10%近く下がっている。客数減は今後もしばらく続くとみる。
		その他専門店 〔書籍〕（店 長）	来客数の動き	・ ここ3か月の来客数を比較すると、ほぼ変化がみられない。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・ 新機種の発売が始まったが、期待通りの販売量とは言えない。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・ 施設利用者数は、前年同月比で数%落ち込んでいる。沖縄観光は厳しい状況にある。来園者は、修学旅行、一般団体が中心である。
ゴルフ場（経営 者）		来客数の動き	・ 特に良くも悪くもなっていない。前年より落ち込んだ状態が続いているのが現状である。	
住宅販売会社 （総務・企画分 野）		来客数の動き	・ 住宅展示場や完成見学会等への来場者数は、3か月前とあまり変わらず推移している。	
やや悪く なっている	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・ 観光客が減少している。修学旅行生は数多く来ているが、売上増には結び付かない。通常の商品も前年比で大幅に減少している。店舗によっては、売上が少し下がった状態を維持しつつあるところもあるが、全店舗では減少している。	
	観光型ホテル （マーケティ ング担当）	販売量の動き	・ 稼働率において前年実績を上回る状況ではあるものの、3か月前と比べると前年比での伸び幅は小さくなってきている。	
	旅行代理店（代 表取締役）	販売量の動き	・ 秋の旅行シーズンを迎えているが、安い商品ばかりで売上が上がらない。	
	通信会社（店 長）	販売量の動き	・ 今月より新商品の発売が始まっているが、非常に動きが鈍く厳しい状態である。要因としては各社の新商品が出そろうまで購入を控えている傾向があり、消費者が購入に対して慎重になっている印象を受ける。	
	その他のサー ビス〔レンタ カー〕（営業担 当）	単価の動き	・ 稼働台数については前年並みに推移しているが、稼働単価が下落しており、売上がやや悪くなっている。旅行代理店の格安旅行が売れているのが原因だとみられる。	
悪く なっている	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	お客様の様子	・ 家電エコポイント制度変更前の駆け込みで液晶テレビなどに金を使って、外食を控えている常連客が多い。11月は落ち込む時期ではあるが、20日以降の平日は過去最低の入客が続いている。	
企業 動向 関連	良く なっている	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・ 受注件数及び受注金額が増えてきている。
	やや良く なっている	輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・ 家電に限るが、エコポイント制度変更による駆け込み需要が非常に多く、それに伴い商品や家電リサイクルの物量も比例して増えている。
		通信業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・ 12月からの受注案件が増えてきている。

	変わらない	輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・久米島地区の受注量は落ち込んだように感じられるが、その分宮古地区に活気がある。
		会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・飲食業界では、週末でも来客数が低迷しており、回復の兆しも無い。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は国、県の大規模工事の減少で前年割れである。民間工事は賃貸住宅の建設があり前年を超えている。全体では公共工事の減少の影響で、前年を下回った。
	悪くなっている	コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が、前年に比べて大分落ち込んでいる。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼が増えている。既存ユーザーの追加や新規も官・民含めて幅広い職種で依頼がある。また、例年年末に向けて依頼がある企業は、今年は人数を増加することである。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人企業が求人誌掲載にかけるとの金額を増やしている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人は前年比で31.8%増加し、新規求人は前年比で21.6%増加している。有効求人倍率は0.39で、前年比で0.08ポイント上昇し、改善傾向がみられる。
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・派遣先からの受注案件が減少している。
	悪くなっている	-	-	-